

## 福井ふるさと学びの森あわらエリア第2回体験イベント 「初夏の森散策&地引網体験」

- 1 日時：平成28年6月5日（日） 8:30~12:30
- 2 場所：福井ふるさと学びの森あわらエリア（波松民有林）・波松海岸
- 3 参加者：一般県民46名（うち小学生以下24名）
- 4 指導者：里山里海湖研究所 ふるさと研究員 河田 勝治さん（あわらの自然を愛する会）
- 5 内容：

福井ふるさと学びの森あわらエリアの第2回体験イベントを開催しました。

まずは、初夏の森散策ということで、波松民有林の中へ。

道中、河田さんから、地元の小学校の児童といっしょに、この里山を守る活動を行ってきたこと、特に県域絶滅危惧Ⅰ類（2016年福井県レッドデータの改訂により県域準絶滅危惧から上位ランクに移行）のオミナエシを増やす活動について説明を受けました。

また、枝打ちや下草刈りなど人が手を加えないと育つことができない希少な植物のことやこの時期に実る木の実について話を聞きました。

次に、地引網体験のため海岸へ移動しました。地元の漁師さんたちが早朝から仕掛けてくださった網を、参加者全員で引っ張ります。参加者はもちろんのこと、企画・運営をしてくださっている「あわらの自然を愛する会」のみなさんも期待と不安が入り混じった表情で網を引きました。結果は・・・大量の鯛！大漁です。

みるみるうちにバケツいっぱいの鯛が水揚げされてきます。正確な数はわかりませんが、全部で50匹はとれたのではないのでしょうか。なかには、80cmほどもあろうかという大物も・・・。これには大人も子供も大興奮でした。

水揚げされた鯛は、その場でさばいて塩焼きや味噌汁の具材としておいしくいただくとともに、1家族1匹ずつおみやげとして持ち帰っていただきました。

里山と里海の恵みを満喫した一日でした。

